

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	34	学校名	十津川高等学校
----	----	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	十津川の材料で制作した行灯の展示会
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	地域創生の視点に立ち、生徒が主体的に活動する。
連携・協働相手	十津川温泉活性化協議会
地域と共有している目標・課題等	地域を愛し、地域課題の解決を目指した学習環境作り、地域の活性化、地域との連携を通じた自己有用感を醸成。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
地元の材料を用いて行灯を制作し、11月頃に校内、平谷地区地域交流センター「いこら」、及び十津川村役場で展示会を催し、本校の取組を発信した。また、生徒たちは、作品の説明文の作成や、見学者へのアンケートの作成を担当し、展示会の充実に貢献した。	

2. 事業の成果と課題

5日間にわたり、3年生が作成した灯り作品を中心に展示。最初の4日間は地域交流センター「いこら」で行い、最終日には高校の駐車場前で展示。来場者投票を実施することで、生徒たちの制作意欲の向上が見られた。また、十津川高校の取組を村の方々に知っていただけた。

来年度は、作品数を増やすこと、完成度の高い作品を展示することにより、少しでも多くの地域の方々に本校の取組を知っていただき、十津川村の活性化につながる活動となることを目標にしたい。

